

## 県建設業協会青年部

県内

次世代を担う子どもたちに、快適な砂場で遊んでもらおうと、佐賀県建設業協会青年部(山口淳也部長、79人)は27日、県内の保育園・幼稚園で、動物のふんなどで汚れた砂場の砂を入れ替えるボランティア「砂場クリーン作戦」を行った。

砂場の砂を入れ替える作業をじっと見つめる園児たち—鳥栖市の田代保育園



神埼支部を除く県内7  
崎博義支部長は「地域の

支部の11園で、各支部の部員が活動。佐賀支部では、あいにくの雨の中、

部員8人が、佐賀市の新栄幼稚園と光生幼稚園で

作業した。光生幼稚園では、約4坪四方の砂場に、

2トトラック1台分の抗菌作用がある砂などを加え、部員がスコップで混ぜ込んだ。佐賀支部の山

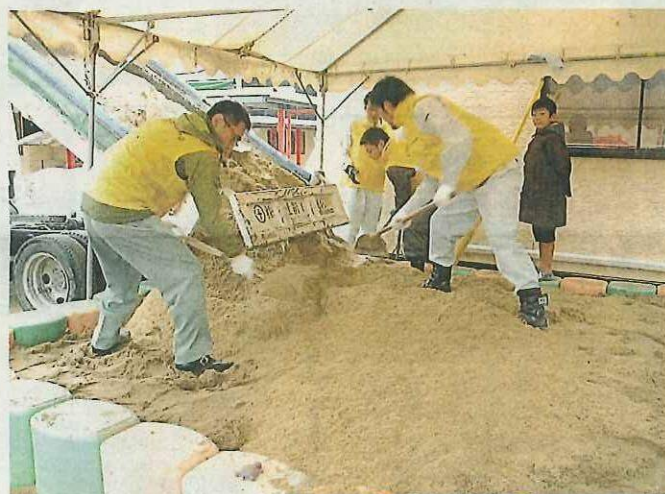
## 県内の保育園・幼稚園 汚れた砂場 きれいに

### 砂を入れ替え整地

子どもたちが喜んでくれれば」と話した。

鳥栖支部は、田代保育園に砂場用の砂約4・5トを寄贈した。7人が重機などを使って古い砂をグラウンドへ移し替え。グランプで用意した川砂を砂場に運び、消毒して整地した。園児たちは新しくなった砂で早速遊び、「きれいになった」

「柔らかそう」と声を上げ、元気いっぱいにバケツに砂を詰め込んでいた。同青年部は毎年、海岸清掃や不法投棄されたごみ回収などのボランティアに取り組んでいる。砂場クリーン作戦は今年で3回目、神埼支部は11月10日に実施する。(石井亜由美、川崎剛)



抗菌作用がある砂などを混ぜ込む建設業協会青年部の部員たち—佐賀市の光生幼稚園